

令和6年度 第2回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

令和6年6月27日（木）午後2時00分～3時45分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階第1会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、西尾とよ子、辛川宗雄、山下和彦、前田勝美、八百谷和子、平木美千子
平井育子、入江真知子、西村勝、深沢あゆみ
以上11名（敬称略）

事務局 太田用瀬町総合支所長、岡本副支所長、堀場市民福祉課長、浜部産業建設課長
遠藤地域振興課課長補佐

傍聴者 2名

【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
支所長あいさつ
- 3 議題・報告事項等
 - （1）地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について・・・資料1
 - （2）地域振興未来プランの策定について・・・資料2
 - （3）地域振興未来会議及び地域未来プランの検討スケジュールについて・・・資料3
 - （4）その他
- 4 各課事務連絡等
- 5 閉会

3 議題・報告事項等

- （1）地域振興会議に代わる新たな会議体の方針案について
資料1により、内容について説明

（委員）

特に意見なし。方針案について了承。

- （2）地域振興未来プランの策定について

資料2により、内容について説明

（委員）

この地域未来プランで主要項目として挙げられている現状と課題の上げ方次第で、その改善のためにつく市予算の振り分け方に影響がでるか。

(事務局)

予算の裏付け部分については、新地域振興ビジョンの時もそうですが、この計画に基づいて予算の要求はしていきます。ただ、それがつくかどうかについては分からないところではあります。

(委員)

委員構成について。年齢が60代以上の委員は地域のことを良く知っているが、全く新しい発想が出てくるのはやはり若い人からだと思う。そういった委員からの発案が具体的に動き出すと予算もついてくるのでは。

また、週末住人さんのように首都圏や関西の情報を持っている委員も加わって、都市から見て田舎に期待しているところを膨らませて、用瀬ではこういうことが出来るということを作っていくってはどうか。

(委員)

人口のところで、昼間の人口と夜間の人口の差がどれくらいあるか把握することは可能か。

(事務局)

国勢調査が来年あるので、そこで出せるものがあるかどうか確認します。

(委員)

歴史文化の継承について。流しびなの国指定重要無形民俗文化財の指定に向けた取組を進めて欲しい。また江波の三番叟は継承者がおらず、継続ができないとの相談を受けている。このことについてもプランに載せていく必要がある。

(事務局)

先日、文化財課に確認したところ、早ければ7年度遅くても8年度には何とかできるように調査していきたいとの回答をもらっています。三番叟についても、踊り手の子どもを募集する以前に、笛や太鼓の演奏もできない状況と聞いていますので、今一度現状を確認して、支所として何かサポートできることがあれば取り組んでいきたいと考えます。

(委員)

三番叟ですが、全楽曲すべてDVDに録画してあるので、いったん途絶えても何とか復活ができるかもわかりません。

(委員)

用瀬町の未来を考えると、一番問題なのは人口減だと思う。このプランには人口を増やす取組、特に若年層や子供を増やす取組が一切触れられていない。耕作放棄地や空き家が増えている状況を見て何とかできないかと考えた時に、やはり人口を増やす取組そのものが抜けていると未来はないのではと思う。

(事務局)

まだお配りしていないデータですが、確かに自然動態出生数から死亡数を引いた自然動態は、毎年大体40人から50人ぐらい減で、5年間で300人弱減っています。

ただ、社会動態で見ますと、なぜかは分かっていますが、令和2年はプラス17人、3年、4年もマイナスですが5年はプラマイゼロという状況があります。もしかすると社会増の方に力を入れて、何とか人口減少を食い止める策ができるのではと思います。

(委員)

今、自分は20代だが、同世代でリモートワークができる人が増えている傾向がある。

資料2の3ページ④の「にぎわいの創出「超高速情報通信網を活用し」というところで、現在、私も用瀬で今何不自由なくリモートワークができています。それは、今の若者たちが求めているWi-Fiがある環境とマッチしている。

また、関係人口的に用瀬に遊びに来てくれる大学生や若手社会人も、用瀬に住んでみたいふんわりした動機があったとしても、住める場所がないということがあるので、例えば首都圏のファミリー層などで、自然のある場所に住みたい理想を持つ方は一定数いると思う。

なおかつ用瀬は、JRの駅もあり、高速も近くを通っているので、交通の便がすごく良く、土地的な利点はかなり大きい。例えば、住める綺麗な家を先に用意すると自然と人がやってくると思うし、今トスクが閉まっているが、新しい人が多く集まると、そこに新たな経済圏として、いろんなものが設計され、新しい商店も建つような経済効果が見込まれるものが潜在的にあるのではと思う。

(委員)

テレビで、高速ネットワーク網を整え高齢者もデジタル活用をして、農産品の販売状況を見たり情報発信している山間地の町が紹介されていた。やはりデジタル環境は大切。よそがやらないことを先にやると人は来てくれるのかもしれない。

(委員)

それから、やはりトスクが無くなったのは暮らす時に大きな痛手だと思う。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。プランについては、また修正した案を皆さんに送らせていただきますので、再度ご意見をいただければと思います。

(3) 地域振興未来会議及び地域未来プランの検討スケジュールについて・・・資料3

資料3により、内容について説明

(委員)

新しい会議委員を募集する時に、やはり勤めている人は昼間の会議に出ようと思えば休暇をとって出ることになり、若い方には敬遠される。例えば日曜日とか、午後6時以降の夜間帯も開くような方向であれば、もっと年代的に幅広い方の意見が聞けると思うので、公募される際にそういう部分で、広く求められるような体制をとって欲しい。

(事務局)

他支所では夜間に開催しておられる所もありますので、応募に際して体制を検討していきます。

(4) その他

事務局より、用瀬町地域おこし協力隊募集等について説明。

4 各課事務連絡等

(事務局)

特にありません。

5 その他

次回日程について ⇒ 南ブロック合同会議
会場：佐治町総合支所 令和6年8月8日（木）午後2時から開催。

6 閉 会